

- 問1 4世紀から6世紀ごろにかけて、朝鮮半島や中国大陆から日本列島へ移り住み、当時の日本に欠けていた高度な技術や文化を伝えた人々を何と呼びますか。 (2023年 新潟県公立入試 類似)
1. 防人 2. 遣隋使 3. 御家人 4. 渡来人
- 問2 400年頃に倭王が中国へ使いを送っていた記録がある時代から、平城京へと遷都されるまでの期間にかけて、日本列島では大陸との交流が盛んに行われました。この時期の文化や技術の伝来について述べた文として、正しいものを選択してください。 (2023年 愛媛県公立入試 類似)
1. 大陸との交流を通じて、源氏物語や枕草子に代表される国風文化が開いた。 2. 中国から大量の銅銭が流入したことで、須恵器に代わって貨幣経済が急速に発達した。 3. 渡来人によって、須恵器の製作技術や、漢字・儒教・仏教などが日本へ伝えられた。 4. 大陸から最新の農業技術が伝わり、脱穀のための千歯扱きが全国に普及した。
- 問3 6世紀の古墳時代に、朝鮮半島の百済から日本へ仏教が公式に伝えられた際、経典や仏像とともに日本へ同時にもたらされたものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 群馬県公立入試 類似)
1. 銅鐸を用いた祭祀の習慣や青銅器文化 2. 寺院建築や彫刻などの高度な技術 3. 稲作の技術とそれに伴う青銅器の製造法 4. 磨製石器の製作技術と大規模な環濠集落
- 問4 群馬県の綿貫観音山古墳から出土した資料などに見られる、灰色で硬く焼き締められた土器の製作上の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
1. 日本列島で古くから用いられてきた伝統的な技法で、野外で比較的低い温度で焼かれた 2. 中国大陆の青銅器の影響を強く受け、表面に複雑な幾何学文様を彫り込んで焼かれた 3. 朝鮮半島から伝わった技術を使い、穴窯の中で酸素を制限しながら高温で焼かれた 4. 稲作が普及し始めた時期に、表面に縄目の文様をつけてから乾燥させて焼かれた
- 問5 世界文化遺産に登録された百舌鳥・古市古墳群には、5世紀頃に造られた日本最大の前方後円墳である大仙古墳が含まれている。このような巨大な古墳が築かれた時代の外交の特徴として、適切なものはどれか。 (2020年 香川県公立入試 類似)
1. 元（モンゴル）からの服属要求を拒否し、九州沿岸の防備を固めた。 2. 中国の北朝へ使者を送り、仏教を公式に伝えるよう要請した。 3. 中国の南朝へ使者を送り、自らの地位を認めてもらう活動を行った。 4. 唐へ遣唐使を派遣し、律令に基づく中央集権的な国家体制を導入した。
- 問6 島根県内の古墳調査において、鍵穴のような形をした古墳が存在する一方で、長方形を二つ繋ぎ合わせたような形状を持つ古墳や、単純な円形の古墳も確認されています。この「長方形を二つ繋ぎ合わせたような形状」を持つ古墳の形式として正しい名称を選びなさい。 (2025年 島根県公立入試 類似)
1. 八角墳 2. 前方後方墳 3. 上円下方墳 4. 双方中円墳
- 問7 古墳時代の前期において、同じ鋳型（いがた）で作られた「三角縁神獣鏡」などの銅鏡が、遠く離れた各地の有力者の古墳から共通して発見されています。このような現象は、当時の日本（倭）におけるどのような政治的状況を物語っていますか。 (2016年 富山県公立入試 類似)
1. 仏教が伝来したことで、全国の有力者が同じ教義を信じ、同じ意匠の鏡を自ら作成した状況 2. 大陸の王朝が日本全土を直接統治しており、各地の役所に同じ規格の鏡を配布した状況 3. 日本各地の村々が独自に大陸と貿易を行い、流行していた同じデザインの鏡を輸入した状況 4. 大和政権が、支配下に入った各地の有力者に対して支配や同盟の証として鏡を配付した状況
- 問8 4世紀から5世紀にかけての古墳時代、大陸から日本列島へ移り住んだ渡来人によって伝えられた、青灰色で非常に硬い土器の名称を答えなさい。 (2023年 高知県公立入試 類似)
1. 須恵器 2. 縄文土器 3. 弥生土器 4. 土師器
- 問9 大阪府の「百舌鳥・古市古墳群」に代表される、5世紀ごろに築かれた巨大な前方後円墳についての説明として最も適切なものはどれですか。 (2024年 熊本県公立入試 類似)
1. 北条氏が執権としての地位を確立するために、各地の武士に命じて造らせたものである 2. 律令国家の成立後に、地方を治めるために任命された国司の墓として造られたものである 3. 鎌倉幕府の将軍が自らの権威を示すために仏教の教えに基づいて建立したものである 4. 大和政権の最高権力者である大王（おおきみ）の強大な権力を示すものである
- 問10 日本の関東地方、現在の埼玉県に位置する前方後円墳からは、115文字の銘文が刻まれた金錯銘鉄剣（きんさくめいてっけん）が出土しています。この鉄剣に記された「ワカタケル大王」という名は、当時のヤマト政権の首長を指すとされています。この鉄剣が出土した古墳の名称として正しいものを選んでください。 (2016年 三重県公立入試 類似)
1. 江田船山古墳 2. 稲荷山古墳 3. 箸墓古墳 4. 大仙陵古墳
- 問11 古墳時代の大仙古墳やその出土品について述べた文章として、正しいものを1つ選びなさい。 (2026年 徳島県公立入試 類似)
1. 大仙古墳などの副葬品には金属器は含まれず、土器のみが納められた。 2. 大仙古墳は弥生時代に造られた日本最大級のお墓である。 3. 大仙古墳からは、副葬品として縄文時代と同じ土偶が出土している。 4. 大仙古墳は前方後円墳と呼ばれる形状を持ち、周囲には埴輪が並べられた。
- 問12 5世紀の古墳から出土する、甲冑（よろい・かぶと）を身にまとい、背中に矢を背負った武人の姿を模した土製品について、当時の社会状況を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2026年 群馬県公立入試 類似)
1. 弥生土器と呼ばれ、大陸から伝わった金属器の使用方法を儀礼的に示している 2. 唐から伝来した仏教儀礼に基づき、寺院の門に配置される守護神を表している 3. 人物埴輪と呼ばれ、当時の緊迫した東アジア情勢を反映した軍事文化を伝えている 4. 七支刀と呼ばれ、百済の王から贈られた最新の鉄製武器の威力を示している
- 問13 古墳時代に、大山古墳（仁徳天皇陵）のような巨大な前方後円墳が築造された歴史的な背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
1. 大陸から伝来した仏教の教えに基づき、故人を盛大に供養することで国家の安寧を祈願するため。 2. 大規模な稲作の普及により余った土地を、洪水から守るための避難場所として整備するため。 3. 大和政権（ヤマト王権）の王が、自らの強大な権威や動員できる労働力の大きさを各地の豪族に誇示するため。 4. 海外からの侵略を監視し、防衛するための軍事的な物見櫓や要塞として機能させるため。